

市 政 報 告

第433回 市議会定例会 12月1日

危機管理



防災
10月21日、津波避難施設スポーツセンタータワー周辺の「なんこく防災パーク」の完成を祝い、開園記念式典を開催しました。

7月以降、スポーツセンタータワーに県内外から数多くの視察申し込みがあり、650人を超える方を案内しました。

交通安全対策

11月6日に南国・香南地区交通安全指導員協議会の研修会を開催し、7月に道路交通法の改正により取り扱いが変更になった電動キックボードなどについて学ぶため、交通シミュレーションの体験が行われました。11月7日には、市内でオートバイ同士の衝突による死亡事故も発生しています。事故の多発する傾向にある年末年始に向け、関係機関と連携を密にして、交通安全意識の醸成を図っていきます。

財政



本年度決算見込みは、南国市中期財政収支シミュレーションにより計画的な財政運営に取り組みますが、基金の取り崩しも予想される状況です。今後、

歳入歳出の動向に注視し、財政の健全化に努めます。

来年度の財政収支の見込みは、国の仮試算によると、地方交付税に地方税などを加えた一般財源総額は確保し、公債費は前年度比20%の減ですが、本市は公債費が令和元年度から増加に転じており、楽観視はできない状況です。

歳出は、高齢化に伴う扶助費や子育て関連経費などの義務的経費が増加しており、財政構造の硬直化が進んでいます。

このような厳しい状況の中、来年度予算編成では、第4次南国市総合計画に掲げた5つのまちづくりの基本目標を軸とし、引き続き、歳入歳出の見直しを図ります。

企画



マイナンバーカード

10月末現在の本市の保有率は67.7%、高知県内の保有率は70.1%、全国では77.7%です。マイナンバーカードはオンライン申請など、住民の利便性向上と行政事務の効率化を実現するための基盤となりますので、引き続き、普及に努めていきます。

民生



国民健康保険

昨年度の1人当たりの医療費は、前年度と比べて0.28%の増です。本年度はこれまでの取組に加え、新たに県と連携して虚血性心疾患予防対策事業を行っています。

特定健診

昨年度の特定健診受診率は、37.8%で、前年度比0.9ポイント増で、新型コロナウイルス感染症流行前の水準近くに近づいています。

介護

介護保険制度は、11月15日に第2回南国市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定推進運営協議会を開催し、令和6年度から8年度までを計画期間とする第9期事業計画の素案を審議しました。今後は、パブリックコメントの実施に向け、引き続き、協議会で給付量の見込みなどを精査していきます。

子育て支援



来年度の教育・保育施設への新規入所申込は、11月20日から各施設・市役所で受付を行っており、一次募集分の結果通知は、来年2月中旬に行う予定です。

環境



動物愛護

やむを得ず殺処分される不幸な猫を減らすことを目的として、令和2年4月からメス猫の不妊手術費を補助し、不妊手術の奨励を図っています。本事業は、県の不妊手術補助金の上乗せ補助として実施していましたが、10月から県の補助対象でない場合でも市単独で補助できるように見直しました。

工商観光



中心市街地の活性化

南国市商工会が駅前町に整備したチャレンジショップは、新たなチャレンジャーの募集が行われ、飲食業用スペースでは、11月に新たなお店がオープンしました。なお、小売・サービス業用スペースは、引き続き、募集を行っています。

建設



道路メンテナンス補助事業では、22橋の定期点検業務と昨年度までの点検結果の成果に基づいた、10橋の修繕工事を実施しており、後川橋の架け替え工事が完了しました。

農村地域防災減災事業において、農家ため池事業は、昨年度

都市整備



篠原土地区画整理事業

最後の工事である第4工区の一部も完成し、地権者へ土地の引渡しも完了しました。これにより、全ての土地の工事と引渡しが完了し、今後は、来年度に予定している換地処分、区画整理登記に向けて事務を進めていきます。

住宅



住宅耐震化に係る取組は、10月から、大篠地区や後免地区などの市中心部をはじめとして、北は上倉地区、久礼田地区、南は稲生地区まで、広範に建築士が戸別訪問し、住宅耐震改修の

上下水道



上水道

水道未普及地域解消は、蔵福寺島地区への水道管布設が完了しました。

有収率向上は、本年度に予定の十市西地区と三島地区の石綿管布設替え工事が完了し、三島地区は全ての布設替えが完了しました。

地震対策は、大篠水源池から配水池までの送水管の耐震化を進めており、吾岡山部分は全て耐震化を完了しました。

下水道

篠原土地区画整理事業に伴う汚水管渠整備工事は、区画整理の下水道工事が全て完了しました。

福祉



生活保護

9月末における本市の被保護人員は712世帯891人で、昨年度末から20世帯減、28

地域福祉

物価高騰対策として、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯などに1世帯当たり3万円を支給しました。住民税非課税世帯と均等割世帯に対し、プッシュ型給付にかかわる支給決定通知書と記入・返送を要する支給要件確認書、計8314通を送付しており、11月15日までに申請受付を終了しました。

消防



本年1月から10月末までの出動状況は、火災出動は昨年より11件増の23件、救助出動は9件減の16件、救急出動は133件増の2623件です。

6月に高知大学医学部附属病院に設置しました救急ワークステーションでは、病院実習中の出動要請に、医師同乗で現場に向かうという取組がありました。引き続き、この取組により救命率の向上と救急隊員のスキルアップにつなげていきます。

教育



学校教育

姉妹都市・岩沼市との交流では、岩沼市から10名の児童生徒が10月16日から3日間の日程で南国市を訪問し、十小小学校、香長中学校の児童生徒と交流を深めました。また、8月に岩沼市の玉浦小中学校を訪問した市内の小中学生が、10月30日に成果報告会を行い、岩沼市の防災などを学んできたことを発表しました。

11月12日に開催された第74回高新中学駅伝競走大会は、香長中学校が女子の部で4年連続17度目の優勝を果たしました。12月17日に滋賀県で開催される第31回全国中学校駅伝大会に出場します。

施設整備

大篠小学校の空調設備を更新する準備を進めています。

新図書館

8月から本格的に造成工事に着手しており、来年度から本館に着手できるように準備を進めています。



▲市政報告の詳細はこちら